



CONTENTS

- 特集** POWER UP INTERVIEW
- 2 株式会社 nBb-1on1
- 4 会員ねっと work
- 6 新会員情報
- 7 商工会議所の動き
- 11 経営ニュースプラス
- 12 景気観測調査
- 13 経営とSDGs
- 14 ITを事例からひも解く
- 15 行政等からのお知らせ
- 16 インフォメーション

社内、各部署でご回覧ください。

新潟商工
会 議 所 〒950-8711
新潟市中央区万代島5番1号万代島ビル7階
TEL 025-290-4411(代) FAX 025-290-4421
URL <https://www.niigata-cci.or.jp>
E-mail office@niigata-cci.or.jp (代)

北 新 潟
支 所 〒950-3125
新潟市北区松浜本町4-7-24
北新潟商工会館内
TEL 025-258-3841
E-mail kita@niigata-cci.or.jp

まちづくり
支 援 課 〒951-8068
新潟市中央区上大川前通7番町1169
新潟国際情報大学新潟中央キャンパス3階
TEL 025-223-6272 FAX 025-229-1788
E-mail tmo@niigata-cci.or.jp



LINE
新潟商工会議所
公式アカウント

POWER UP

INTERVIEW

株式会社nBb-1on1 代表取締役 ^{さかい えいち}坂井 英一 氏

バスケットボールで新潟を元気に。 誰でも楽しめる場所を提供したい



PROFILE

1956年生まれ、新潟市出身。新潟市立白山高校バスケットボール部に所属し、チームではインターハイ初出場ベスト8、個人では2年時に新潟選抜チームに選ばれ国体準優勝に輝く。東洋大学時代は関東大学リーグ3部から2部に昇格。会社員、会社経営を経て2007年にnBb-1on1を創業。現在、新潟県バスケットボール協会副会長を務め、県内での3人制バスケット3×3の普及に力を入れる。

「いつでも、誰でも、一人でもバスケができる場所」をコンセプトに、新潟唯一のバスケットボール専用コート運営するnBb-1on1。世代を超えてバスケを愛する人たちが集える空間を作りたいという坂井代表に、お話を伺いました。



株式会社nBb-1on1

〒950-0914

新潟市中央区紫竹山1丁目10番17号

TEL : 025-248-9101

<http://nbb-1on1.com/>

子どもから大人まで、気軽にバスケットを楽しんでほしい。ここに来て“元気になった”“仲間が増えた”と感じてもらえることが大切です

自分を成長させてくれた バスケットボールで新潟を盛り上げたい

新潟唯一のバスケットボール専用コートを開業し、バスケットボールスクールや個人レッスン、アパレル販売などを手掛けるnBb-1on1。創業の理由について坂井代表は、「高校時代に素晴らしい恩師と出会い、バスケットが自分を成長させてくれたので、新潟のバスケット界を元気にしたいという思いがありました。また、日本で初めてバスケットのプロチームができたのが新潟で、チームの社長が私の後輩でした。そこで“一緒に新潟を盛り上げないか”という話があり、構想から約2カ月半で場所選定から資金繰りまで行い、この専用コートを作ったのです」と語る。

子どもに寄り添った指導を重視。 SNSをきっかけに他県から参加も

nBb-1on1は小学生や中学生への指導に定評があるが、大切にしているのは「子どもたちが成長するきっかけを与えること」。コーチを務める岸本博之さんは「スキル指導をする上で私たちの強みは何かというと、実際に自分がプレイをして見せられるということです。また、子どもたちは一人一人感性が違うので、その子に合わせた言葉使いや声かけをするように心がけています」と語る。

また、YouTubeやInstagram、TwitterなどSNSの発信にも注力。YouTubeではみんなで楽しめるシュートゲームやコートの活用方法など、親しみやすい内容の動画もアップしている。「SNSを通じてここを知ってくれる人もいますので、日本全国に向けて発信することを目的にしています」とインストラクターの藤村伊吹さんが話すように、夏休み期間の練習会に他県から参加する生徒もいるという。



(nBb-1on1のスタッフたち)

コーチングのスキルを学んだインストラクターや、提携するトレーナーなどがスクール生を指導。コーチ自らプレイを実践して見せることで、技術を習得するスピードが速くなるという。

バスケットを通して人の輪が広がり コミュニティが自然と生まれる

10年程前には新潟商工会議所を通して、中小企業診断士による中長期の事業計画相談を受けた。「創業から1、2年は赤字で、何とかしなければと商工会議所さんにご相談しました。そこで専門家の方に借入返済の具体的なアドバイスから経営についてまで、親身になってご指導をいただき助かりました」。近年は、コロナ禍で休業を余儀なくされた際に商工会議所に相談したことで、速やかな対応ができたという。

15年の間にここで出会った人たちの輪が広がり、バスケットで繋がるコミュニティが自然と生まれてきたという坂井代表。「オリンピックの正式種目になった3人制バスケットが普及すると、バスケットをする人たちがもっと広がっていくと思います。いつでもバスケットができる環境、みんなが生き生きと元気になれる場所に、これからはなっていきたいですね」。若いスタッフや仲間たちとのチームワークで、今後もバスケットを通して新潟を盛り上げてくれるだろう。



(バスケットボールコート)

新潟唯一のバスケットボール専用コートでは、これまでさまざまな大会や大規模なイベントが開催されてきた。壁にはプロバスケットボール選手のサインが数多くあり、ファンに喜ばれている。